

## 版画でたずねる日本の名城：1

K.K

### 松前城

北海道、最南西端に建つ【松前城】。北辺警備の為、幕命で築城したが、戊辰戦争で落城。その銃弾跡が石垣に残っている。明治8年天守、本丸御殿等を残して取り壊された。

昭和16年国宝に指定されたが、24年本丸御門を残し消失目の前の津軽海峡越しに竜飛崎がうっすらと見えた。

帰路の途中『横綱の里』の看板。千代の山と千代の富士、両横綱の出身地だという。

その先は北島三郎の故郷で似顔絵を描いた街灯が連なっていた。旅には新しい発見があります。



## 版画でたずねる日本の名城：2

### 犬山城

標高40mの丘陵に建つ国宝、【犬山城】断崖絶壁の下に木曾川が流れる。最上階の望楼からは、西に信長の岐阜城を!! 南に秀吉と家康が戦った小牧山城等を望む、360度の眺望。関ヶ原合戦後の築城とされ木組みの梁、板張りの床、急階段等、旧状をとどめている。

天守の石垣は高さ5mくらい、自然石を加工なしで積上げた野面積みだ!!

城の正面には城下町の面影が残る街並みが一直線に!!幕末に建てられた商家などを見学すると江戸時代にタイムスリップだ!!



## 版画でたずねる日本の名城：3

### 備中松山城

標高430mに建つ【備中松山城】は、現存する天守の中で最も高い山城です。

秋から春の早朝には雲海に浮ぶ幻想的な姿を見せる天空の城でもあります。

天守とその裏側に続く二重櫓、更に一部が現存し、残り半分が復元された土塀が重要文化財に指定されています。一際目を引くのが大手門脇に聳える石垣群です。

山の花崗岩を石垣の一部として利用、見上げると荒荒しい圧倒的な高さから迫ってきます。

天和三年(1683)に城下町を整え、城も大修復されました。天守の一階には珍しく囲炉裏が切られており、籠城時、城主の居室である、装束の間も設けられている。山城ならではの城づくりの特徴が随所に見られ、

【一見の価値があります】

